

# 町内視察で現地確認

輝くふるさと常任委員会所管事務調査 5月28日



下冬部橋から鳥居まで舗装された町道七滝線



外壁を張り替える小屋瀬保育園



床を張り替える五日市保育園



バリアフリー化が進められるすずらん工房

整備が行われ、本年の舗装工事が待たれています。  
このほか21年度に予定されている町裏線は、凍害による道路の傷みを部分的に補修します。  
野中線、辰鼻線、渋谷地線、毛頭沢線は舗装を行います。  
施設修繕予定の調査箇所は、建築以来30年以上経過している小屋瀬保育園の外壁の張り替え、五日市保育園が遊戯室などの床の張り替え、地域活動センター（すずらん工房）は、段差を解消し、車いすで入ることができるようバリアフリー化を進めるほか、傷みが著

しい床の張り替えを行います。  
町では、20年度から災害に対する備えを万全にし、地上デジタル放送に対応するため情報基盤整備事業に多額の予算を集中的に配分しています。  
このため、道路整備等の予算が減少し現地確認箇所が少なくなっているのが実感されます。  
国の緊急対策等の予算を使って早期に事業を完了し、雇用が減少している土木関係の事業を増やし、町内の景気回復を望みます。



凍害による傷みのはげしい町裏線



打田内から葛巻林業方面へ舗装される野中線

今回の現地調査は、20年度に実施した各種事業の施工状況と21年度に実施が予定される道路関係6路線ほか、地域活性化・生活対策臨時交付金で行われる施設修繕4箇所を選定し現地確認をしました。

20年度事業では、町道七滝線以下冬部橋から七滝祭りが行われる七滝大明神の鳥居まで舗装しました。  
また、継続事業で実施されている



災害防止を考慮したボックス構造で根地戸線に架けられた橋



協働のまちづくり補助金を活用し、整備された古川戸墓地連絡道

た町道根地戸線が、着工から22年を要して完成し、長年の課題が一つ解消されました。  
協働のまちづくり補助金で実施した古川戸墓地への連絡道は、駐車スペースも確保され、車でのお墓参りが出来るようになりました。  
このほか協働のまちづくり補助金で行う事業（特認基盤整備事業を含む）では、バス停、屯所、公園を修繕・整備したり、センターの簡易水洗化や照明の設置など多様な目的に有効活用されています。  
道路整備では、松ヶ沢線は路盤